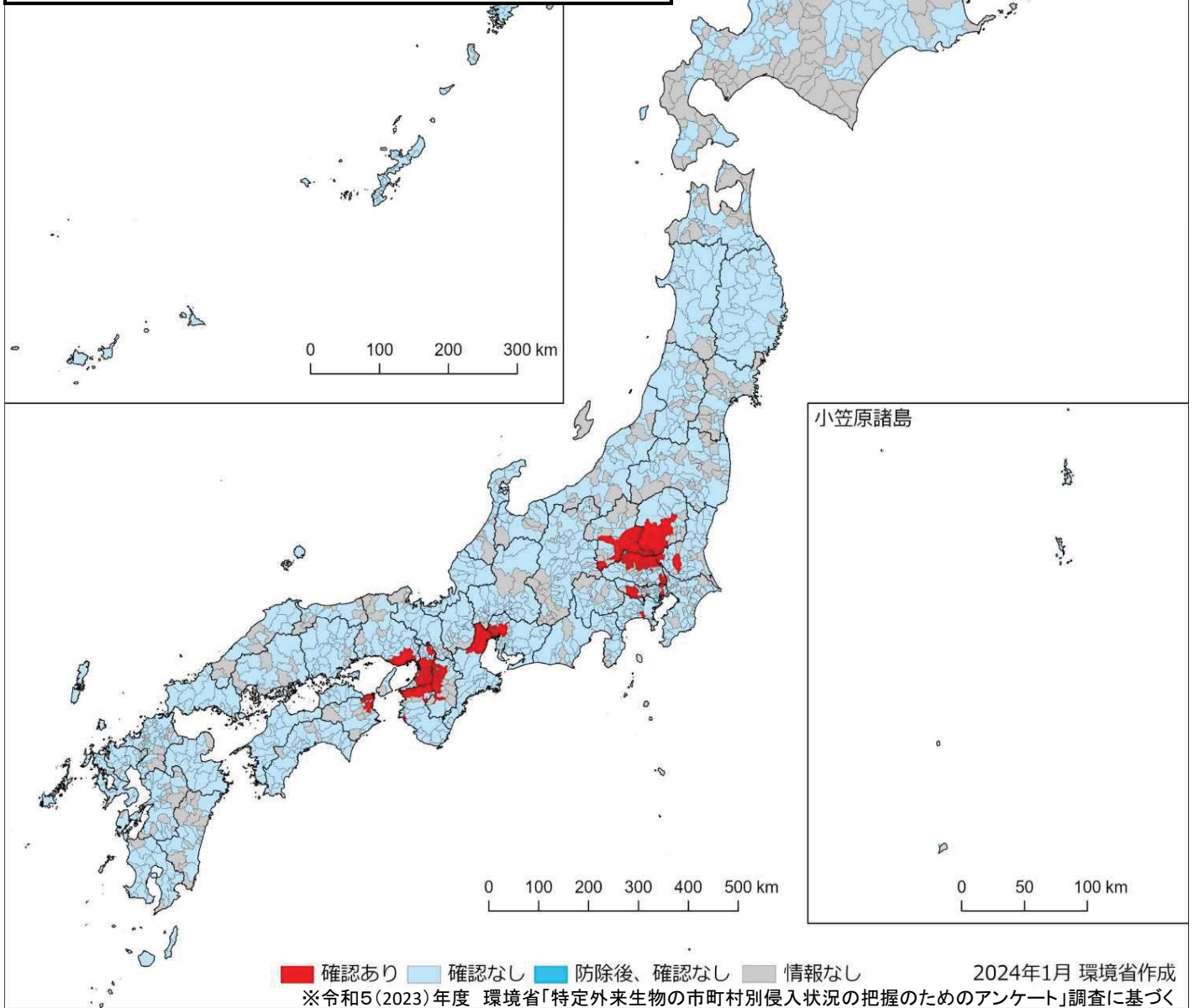


【お願い】クビアカツヤカミキリの侵入に警戒を！！

クビアカツヤカミキリの発生地域 (市町村単位)

環境省HPから引用、2024年1月末現在



2012年に愛知県で発生が確認されて以降、2024年4月末までに**13都府県に発生が拡大**しており未発生県への侵入が懸念されています。

万が一に未発生県に侵入した場合、**定着を防ぐためには早期発見・早期防除が重要**です！

クビアカツヤカミキリの幼虫(フラス)や成虫の特徴。

裏面へ

クビアカツヤカミキリの特徴

①幼虫(フラス)の特徴(フラスがよく見られる時期:5月~9月)

▷寄主植物: **サクラ、モモ、ウメ、スモモ**など

▷幼虫は**フラス**(幼虫のフンと木くずが混ざったもの)を**樹から排出**します(右図参照)。

▷木の内部を食い荒らして、加害された木は衰弱し、**やがて枯れて**しまいます。



クビアカツヤカミキリの幼虫

クビアカツヤカミキリのフラス



提供:(国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所

②成虫の特徴(発生時期:5月末~8月)

▷全体的に光沢のある黒色で**胸部(クビの部分)が赤い**

クビアカツヤカミキリの成虫

提供:(国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所



▷体長:3~4センチ(触角は、含まない)
※見つけた際は、できるだけ踏みつけるなど**その場で駆除**してください。
(生きたまま持ち運ぶことは**外来生物法違反**となります。)

▷成虫が樹に**産卵した卵は、ブラックライトを照射すると発光**し、簡単に発見することができます。

クビアカツヤカミキリの卵に対するブラックライトの照射

提供:栃木県農業試験場 研究成果第42号



①~②の発見があった場合

管轄する**地方農政局**や**地方環境事務所**まで**情報提供**をお願いします。